

第13章 販売取扱所（危政令第18条）

第1 区分

1 販売取扱所とは

「販売取扱所」とは、店舗において容器入りのままで販売するため指定数量以上の危険物を取り扱う取扱所をいう。（危政令第3条第2号）

2 技術基準の適用

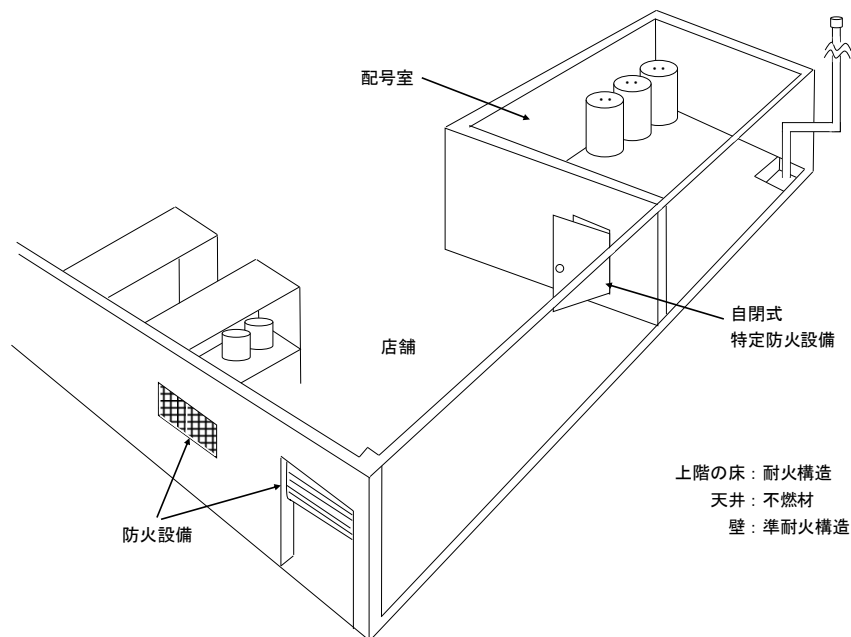
販売取扱所は指定数量の倍数に応じ、技術上の基準の適用が法令上、次のように区分される。

第13-1表 各種の販売取扱所に適応される基準

区 分	危 政 令	危 規 則
第1種販売取扱所（15以下）	18Ⅰ	
第2種販売取扱所（15超～40以下）	18Ⅱ	

注 括弧内は指定数量の倍数、算用数字は条、ローマ数字は項を表している。

3 販売取扱所の設備



第1種販売取扱所の例

第2 規制範囲

販売取扱所は、建築物内に設けた危険物を販売する区画室（店舗部分で小分け室を含む。）をもって一許可単位とする。

なお、離れて設置された区画室をあわせて一許可単位とすることはできない。

第3 許可数量の算定

許可数量は、規制範囲内で保有する危険物の最大取扱数量とする。

第4 位置、構造及び設備の基準

1 危政令第18条第1項を適用する第1種販売取扱所

(1) 建築物の構造（危政令第18条第1項第3号、第4号及び第5号）

ア 危政令第18条第1項第3号ただし書の規定による隔壁（以下「他用途部分との隔壁」という。）に出入口を設ける場合は、自閉式の特定防火設備とする。

イ 他用途部分との隔壁には必要最小限の監視用の窓（網入ガラス入りはめ殺し戸とし、温度ヒューズ付特定防火設備を設けたもの）を設けることができる。【S51 消防危 23-3】

(2) その他

販売取扱所に雨よけ又は日よけを設ける場合、支柱及び柱等は不燃材料とし、覆いは難燃性以上の防火性能を有するものとすることができる。

2 危政令第18条第2項を適用する第2種販売取扱所

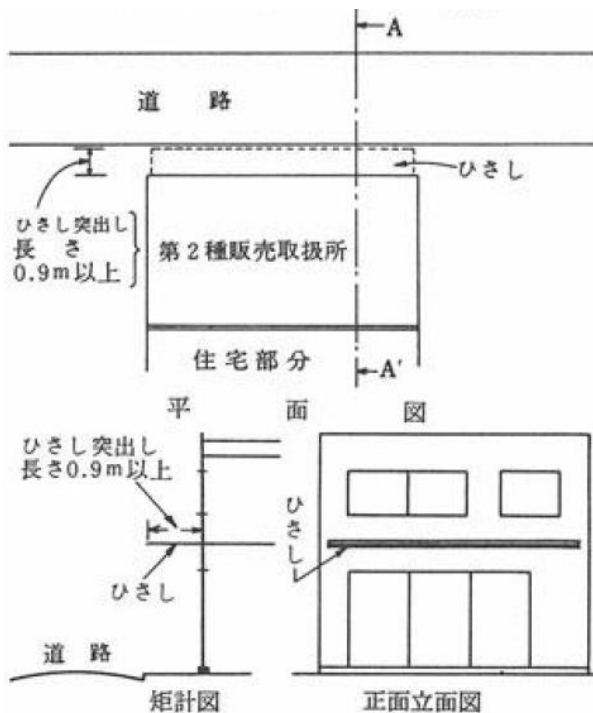
1 ((1)アを除く。)によるほか、次によること。

(1) 上階への延焼を防止するための措置（危政令第18条第2項第2号）

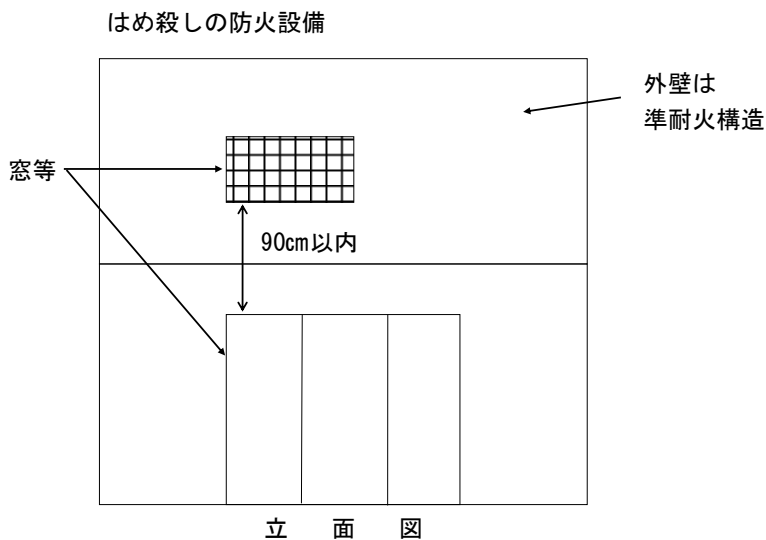
危政令第18条第2項第2号に規定する「上階への延焼を防止するための措置」としては、次による方法がある。

ア 上階との間に延焼防止上有効な耐火構造のひさしを設ける等の方法（第13-1図参照）【S46 消防予 106】

イ 上階の外壁が準耐火構造（危政令第18条第1項第3号に規定する準耐火構造をいう。）であり、当該販売取扱所の開口部に面する側の直上階の開口部にはめ殺しの防火設備が設けられている方法（第13-2図参照）【S48 消防予 121】



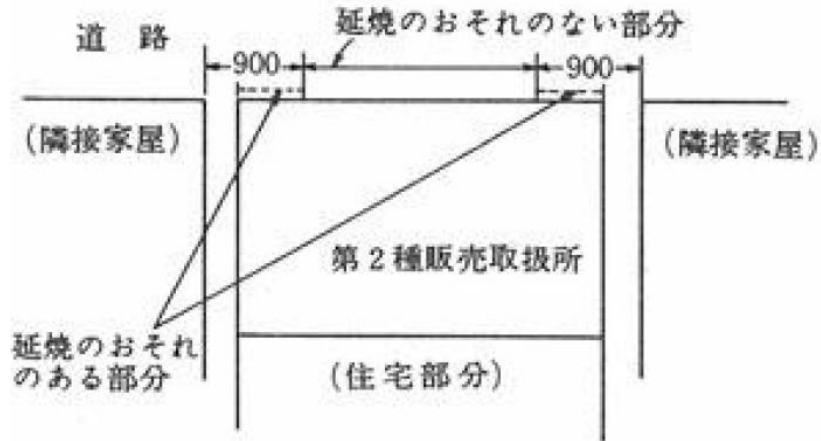
第13-1図 上階への延焼を防止するための措置例【S46 消防予106】



第13-2図 上階への延焼を防止するための措置例【S48 消防予121】

(2) 延焼のおそれのない部分（危政令第18条第2項第3号）

販売取扱所の両側に近接する建築物との間隔が0.9m以上である取扱所の部分は、危政令第18条第2項第3号に規定する「延焼のおそれのない部分」としてみなすことができる。（第13-3図参照）【S46 消防予106】



第13-3図 「延焼のおそれのある壁又はその部分」及び「延焼のおそれのない部分」の例